

住みやすいまちに関するアンケート（転出者）

集計報告

平成27年10月

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

岩倉市では、『多様な縁で創る「役立ち感」に満ちた市民社会をめざして』を基本理念として掲げた第4次岩倉市総合計画に基づいて市政運営を進めています。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本市では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、より一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、岩倉市から転出した方を対象にアンケートを実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）に岩倉市内から市外に転出した20歳～60歳の人 718人

②調査方法

郵送配付・郵送回収方式

③調査期間

平成27年7月30日から平成27年8月19日までの期間

(3) アンケート票の配付・回収状況

配付・回収状況は、下表の通りです。

表 0-1 配付・回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
718	180	25.1 (%)

(4) グラフの見方等

グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。

図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

一部のグラフにおいては、「不明（回答なし）」は省略してあります。また、設問のカテゴリー（選択肢）などの表現は、一部省略してある場合があります。

第1章 あなたやあなたのご家族などについて

(1) 性別・年齢(問1)

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

図 1-1-1 「性別」

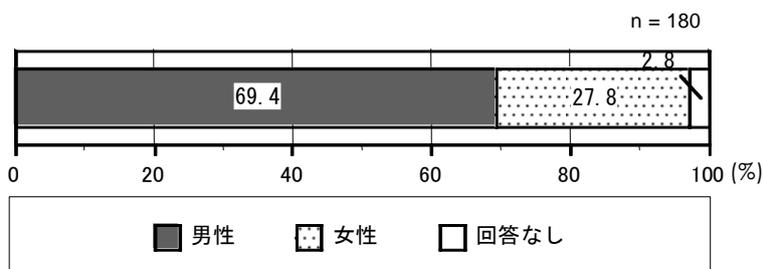
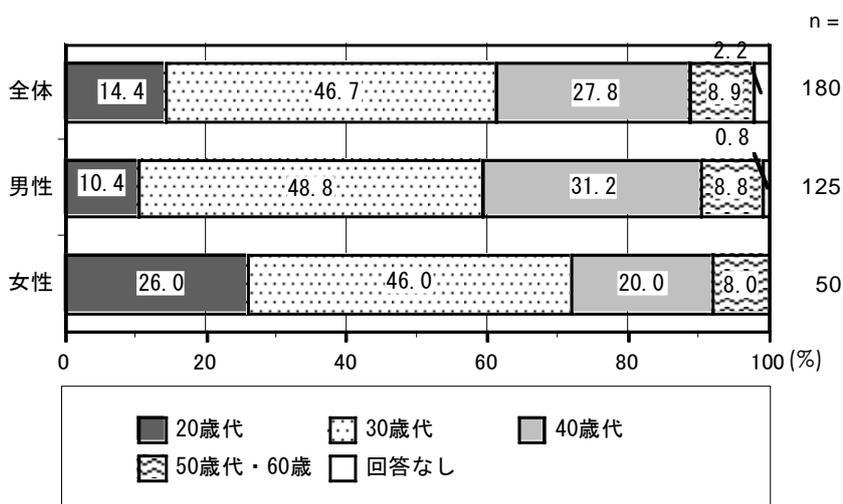


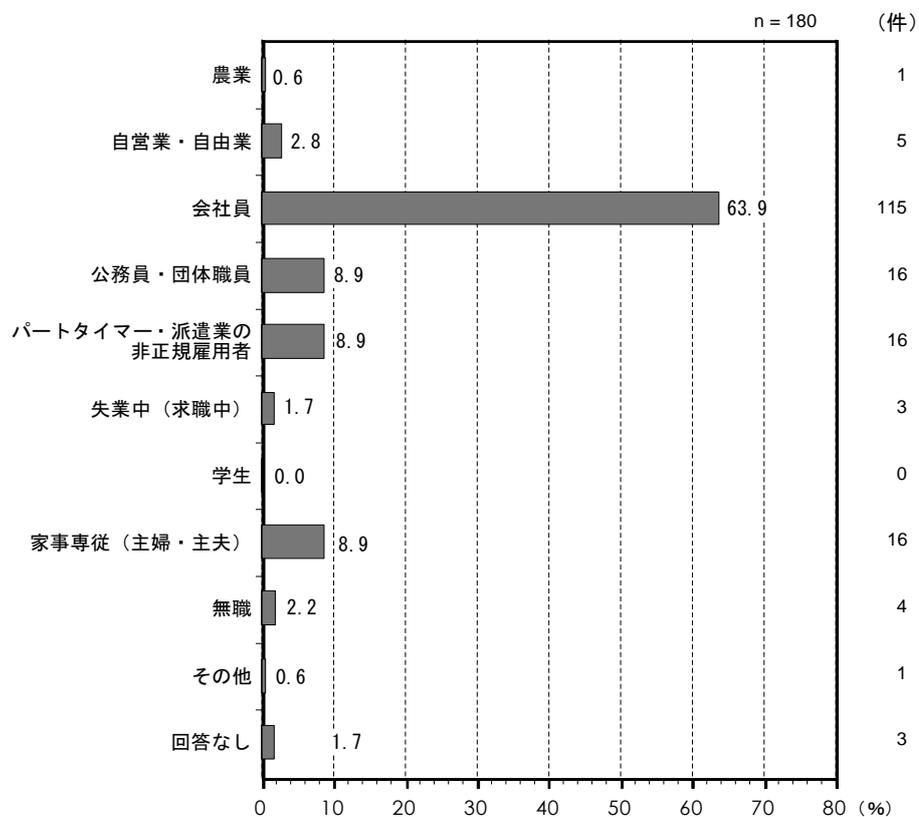
図 1-1-2 年齢別「性別」



(2) 職業 (問2)

問2 あなたの職業は何ですか。

図 1-2 「職業」



(3) 転出先 (問3)

問3 あなたは、現在(岩倉市から転出した後)、どこに住んでいますか。

転出先は、愛知県内の市町村が約6割を占めています。

図1-3 「転出先」

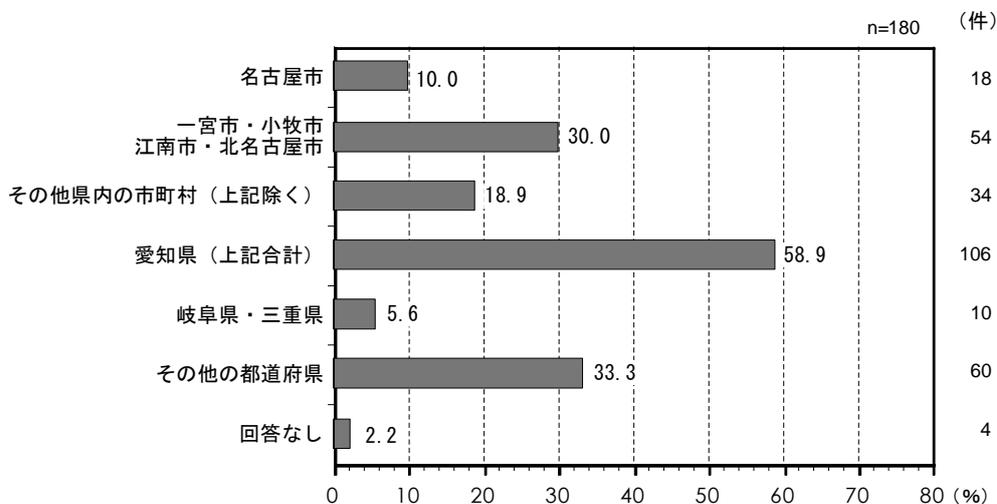


表1-3-1 転出先カテゴリ
「その他県内の市町村」の内訳

その他県内の市町村	件数
春日井市	5
犬山市	4
扶桑町	4
稲沢市	2
半田市	2
知立市	2
清須市	1
刈谷市	1
みよし市	1
長久手市	1
あま市	1
尾張旭市	1
知多市	1
弥富市	1
豊田市	1
安城市	1
大府市	1
西尾市	1
豊橋市	1
不明	2
合計	34

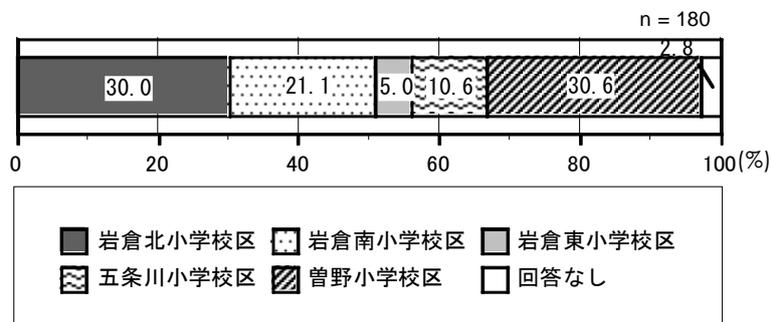
表1-3-2 転出先カテゴリ
「その他の都道府県」の内訳

その他の都道府県	件数
東京都	9
神奈川県	8
大阪府	6
埼玉県	5
静岡県	5
福岡県	4
山形県	3
宮城県	2
千葉県	2
岡山県	2
広島県	2
沖縄県	2
北海道	2
富山県	1
島根県	1
長野県	1
石川県	1
愛媛県	1
香川県	1
熊本県	1
滋賀県	1
合計	60

(4) 岩倉在住時の居住地（校区）（問4）

問4 あなたは、岩倉市に住んでいた時、あなたのお住まいほどの校区にありましたか。

図 1-4 「岩倉在住時の居住地（校区）」

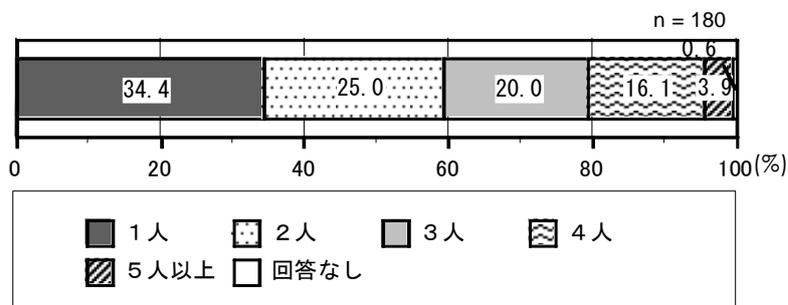


(5) 転出家族の人数（問5）

問5 岩倉市から転出されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

転出した家族の人数は、「1人」または「2人」が約6割を占めています。

図 1-5 「転出家族の人数」

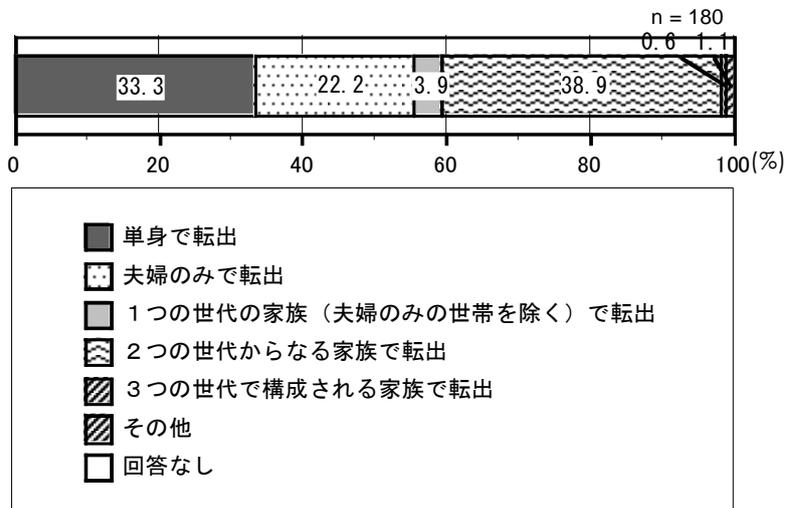


(6) 家族構成 (問6)

問6 岩倉市から転出したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

核家族(2世代世帯や夫婦世帯)の転出が約6割、単身での転出が約3割を占めています。

図1-6 「家族構成」

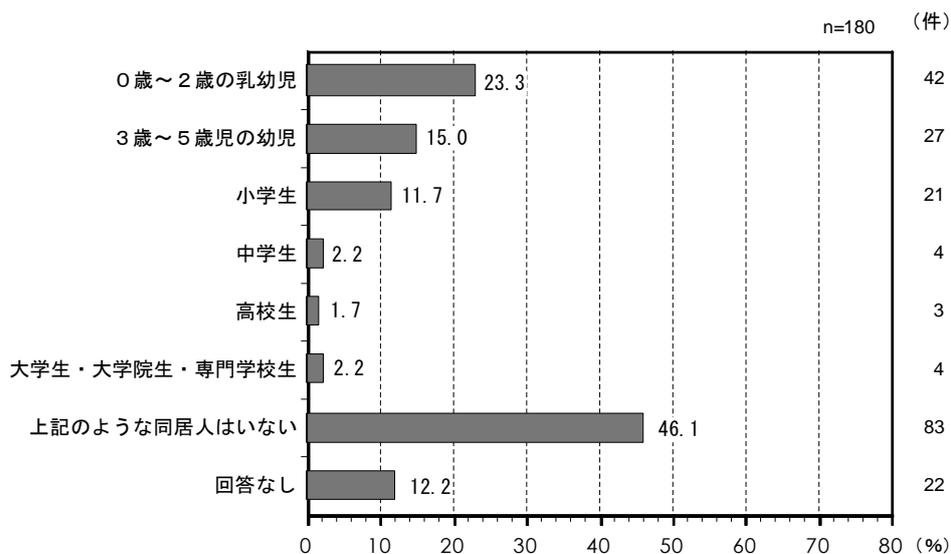


(7) 同居の家族 (問7)

問7 岩倉市から転出したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

転出した家族の約半数には子どもや学生が含まれており、子どもの年齢は、未就学児が多くなっています。

図1-7 「同居の家族」

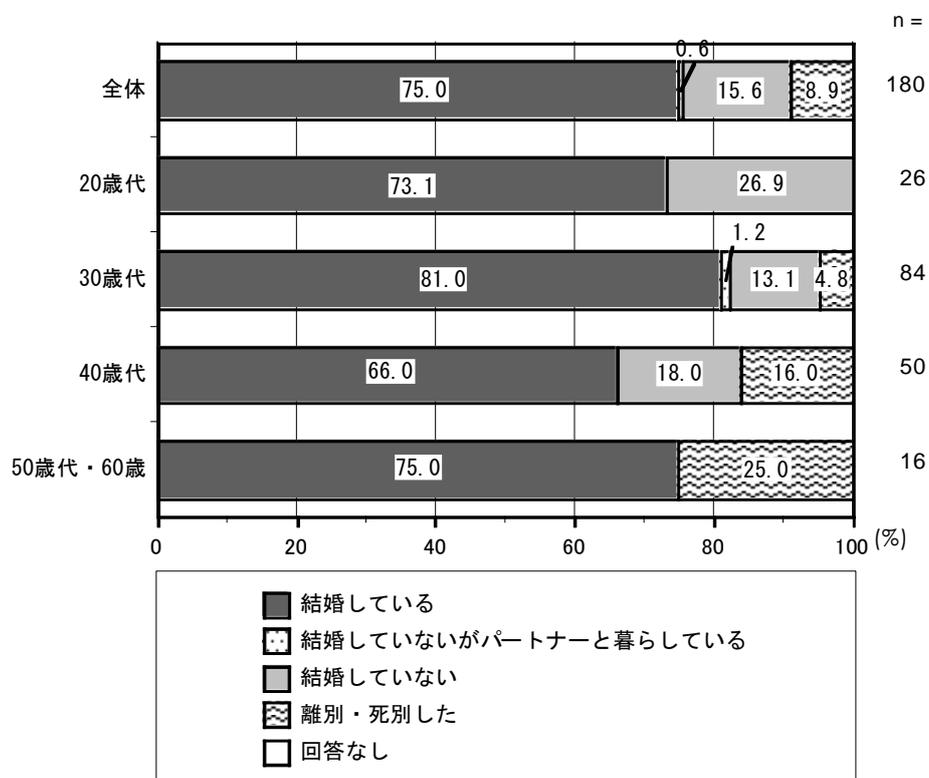


(8) 結婚の有無 (問8)

問8 あなたは結婚していますか。

「結婚している」という回答者が75.0%で最も多くを占めています。年齢別にみると、20歳代では「結婚していない」が26.9%を占めており、30歳代以上では年代が上がるにつれ「離別・死別した」の割合が増加しています。

図1-8 年齢別「結婚の有無」



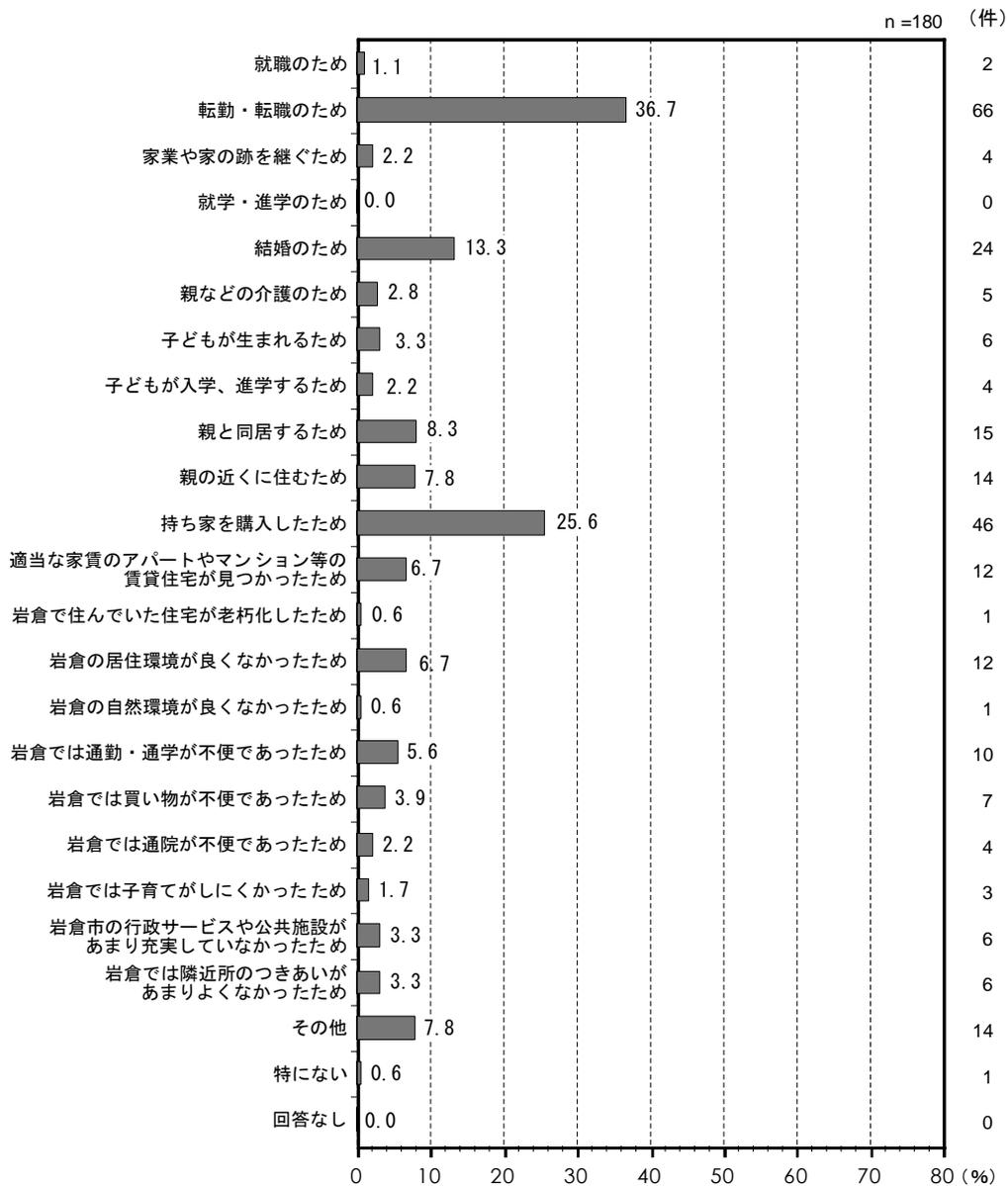
第2章 岩倉市からの転出理由や転出前後の様子について

(1) 転出の理由（問9）

問9 岩倉市から転出して（引越しをして）、他市町村に移り住んだ主な理由は何ですか。
【あてはまるものを5つまで選んで番号に○印をつけてください。】

転出した理由は、転勤・転職、持ち家の購入、結婚などが多くを占めていますが、岩倉市の居住環境や利便性、サービスなどに対する不満を理由にあげた人も少ないながらも見受けられます。

図 2-1 「転出の理由」



(2) 転出前後の住宅のタイプ (問 10)

問 10 岩倉市に住んでいた時(前住地)の住宅のタイプと岩倉市から転出して(引越しをして)他市町村に移り住んだ後(現住地)の住宅のタイプをお教えてください。

転出後の住宅タイプは、「一戸建ての持ち家」と「賃貸アパート・マンション等(建物が3階建以上)」がそれぞれ約3割で多くを占めています。

転出前後を比較すると、「賃貸アパート・マンション⇒一戸建ての持ち家」あるいは「賃貸アパート・マンション⇒賃貸アパート・マンション」という転居パターンが多くなっています。

図 2-2-1 「転出前後の住宅のタイプ」

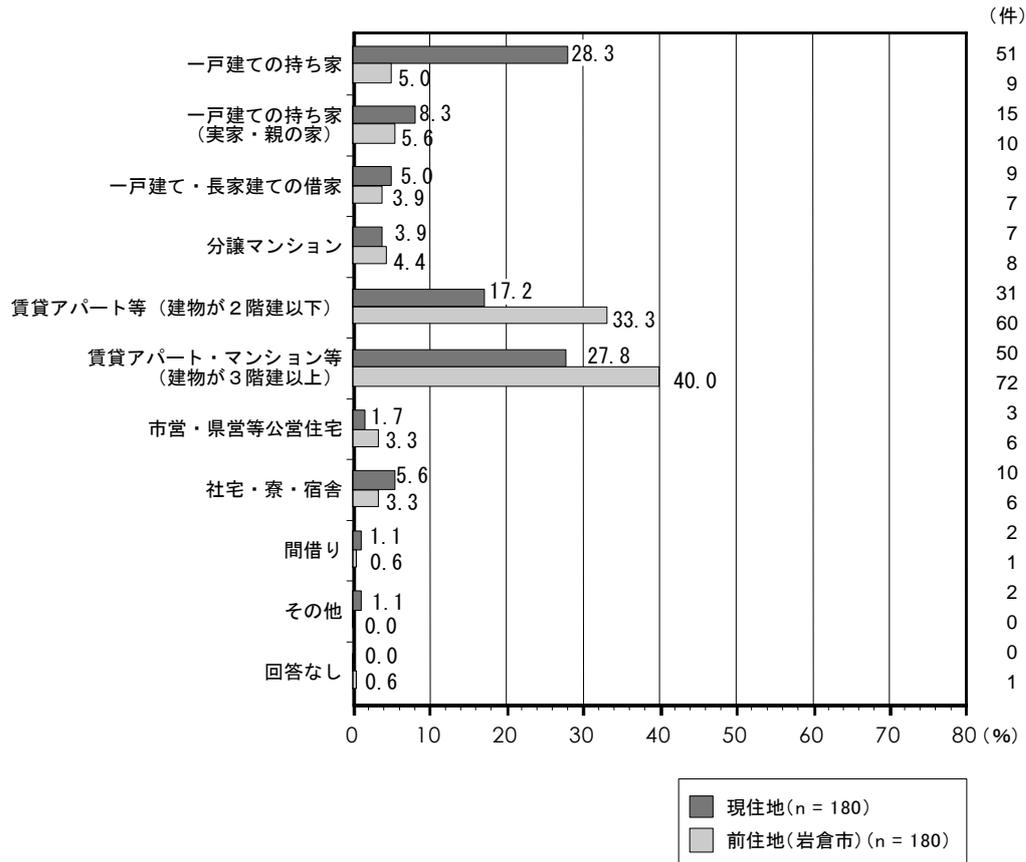
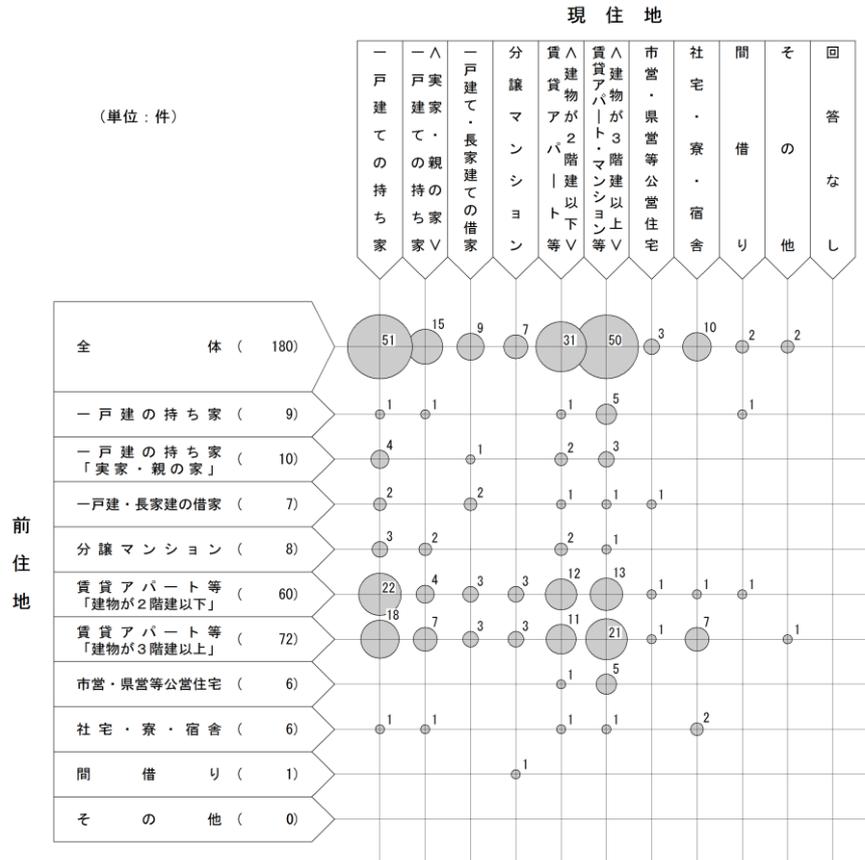


図 2-2-2 前住地の住宅のタイプ別「現住地の住宅のタイプ」



(3) 住みやすさに関する比較評価 (問 11)

問 11 岩倉市に住んでいた時 (前住地) と岩倉市から転出して (引越しをして) 他市町村に移り住んだ後 (現住地) とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑩までのそれぞれの項目の面からみて、現住地に比べて岩倉が住みよかったかどうか、1~5 の番号に○をつけてください。

岩倉市と転出先に関する各項目の住みやすさについて、下記の方法により 5 段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、住みやすさの分析を行いました。平均得点は、+2 点に近いほど岩倉市の方が住みやすいことを示し、逆に -2 点に近いほど岩倉市の方が住みにくいことを示しています。

【住みやすさの平均得点の算出方法】

住みやすさ	得点 (評点)
岩倉の方が住みやすい	+2 点
岩倉の方がやや住みやすい	+1 点
どちらともいえない	0 点
岩倉市の方がやや住みにくい	-1 点
岩倉市の方が住みにくい	-2 点

住みやすさの平均得点

$$= \{ \text{「岩倉の方が住みやすい」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「岩倉の方がやや住みやすい」の回答数} \times (+1 \text{点}) + \text{「岩倉市の方がやや住みにくい」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「岩倉市の方が住みにくい」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \div \text{総回答数}$$

岩倉市に対する評価が高かった項目は、「適当な家賃のアパート等の賃貸住宅の取得のしやすさ」や「鉄道やバスなどの交通」などでした。一方、評価が低かったのは、「戸建て住宅やマンション等の持ち家の購入のしやすさ」などでした。

図 2-3-1 「住みやすさに関する比較評価」

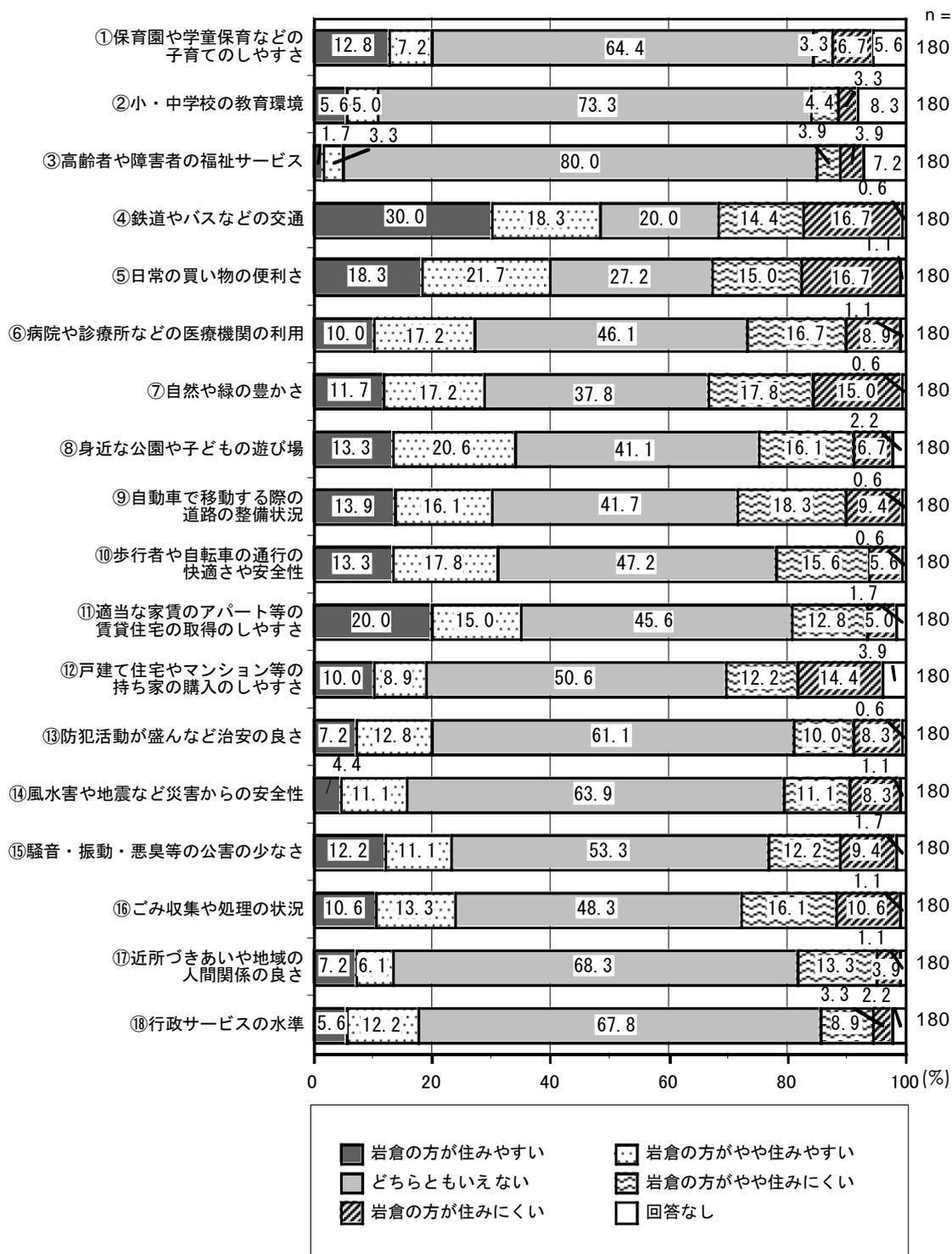


図 2-3-2 「住みやすさに関する比較評価」(評点)

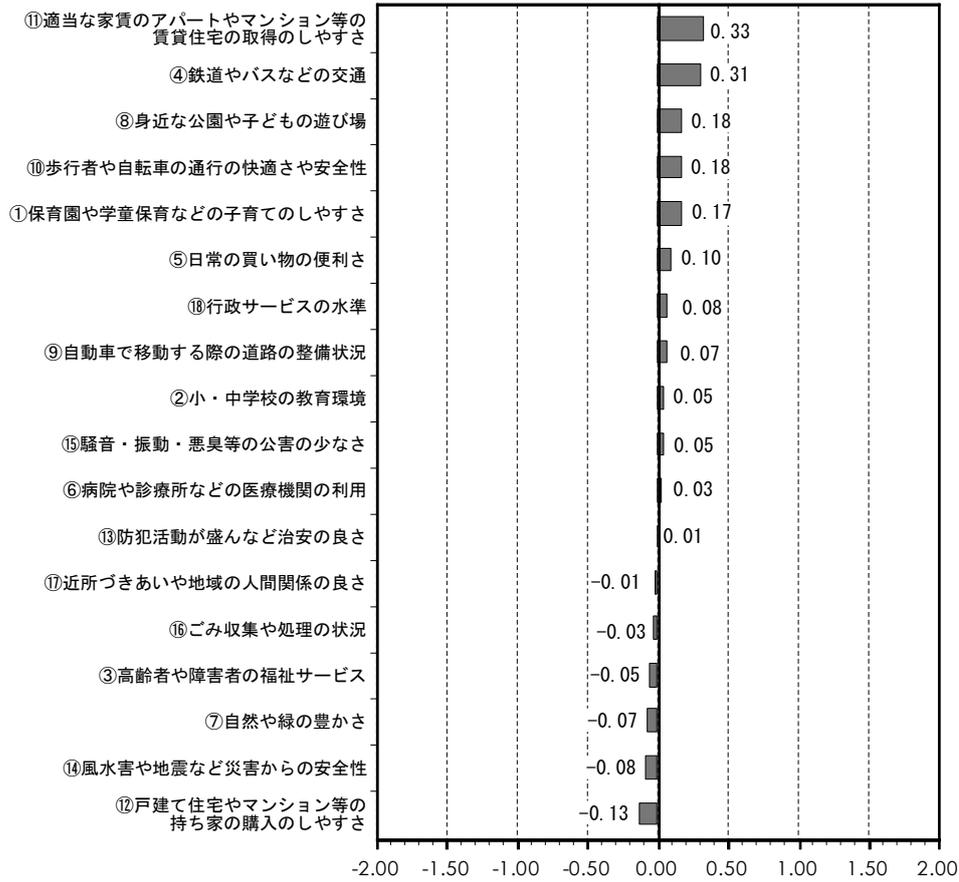


図 2-3-3 性別「住みやすさに関する比較評価」

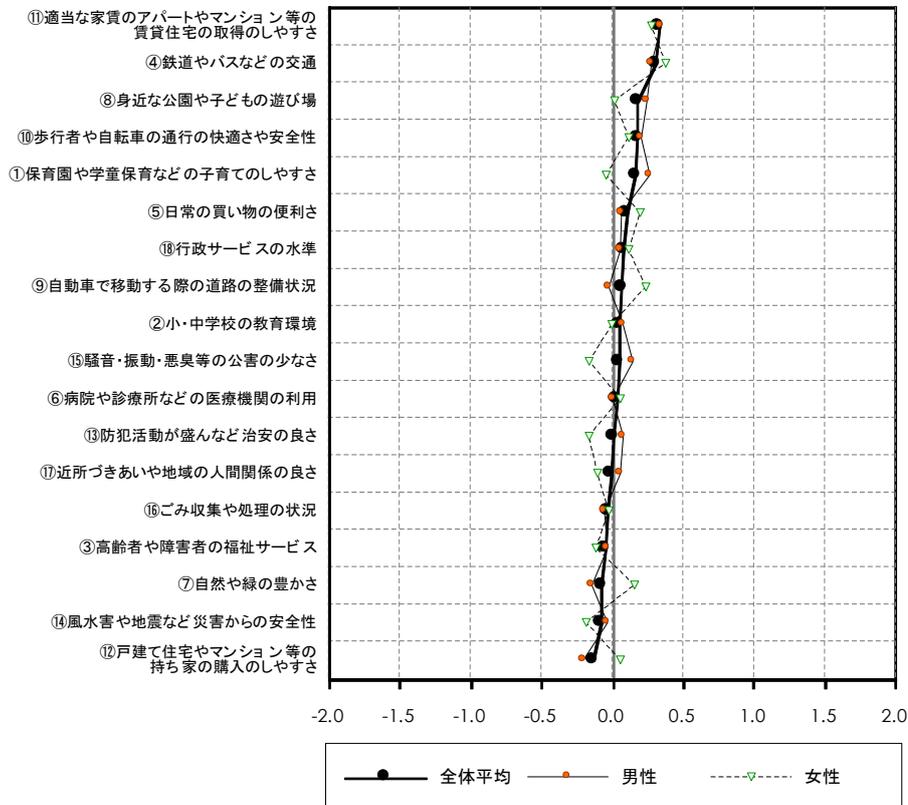


図 2-4-2 年齢別「現住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価」

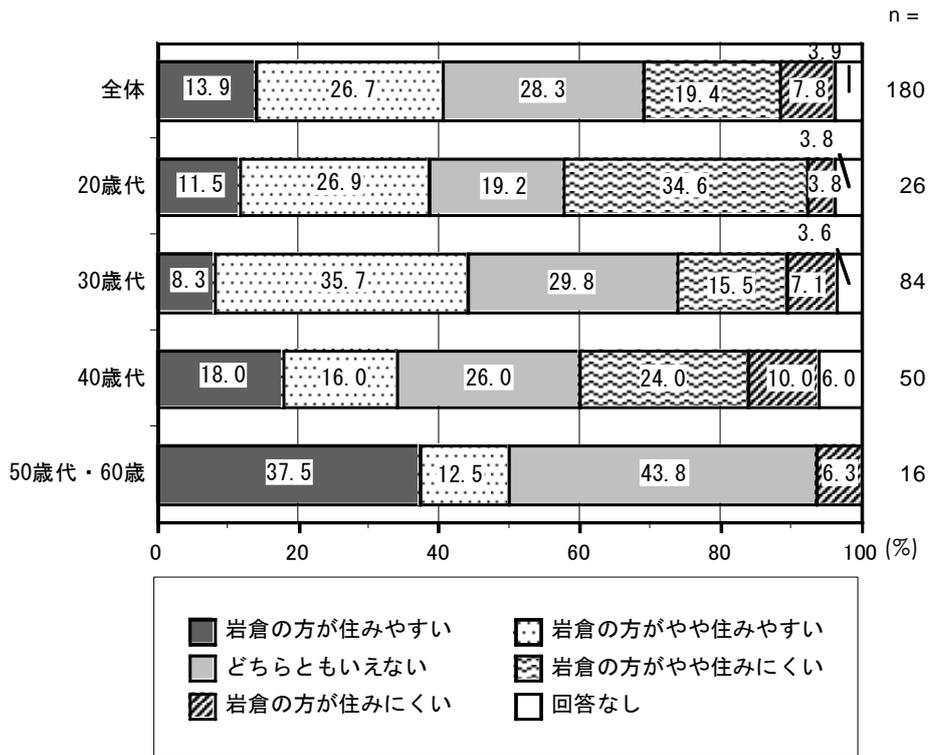
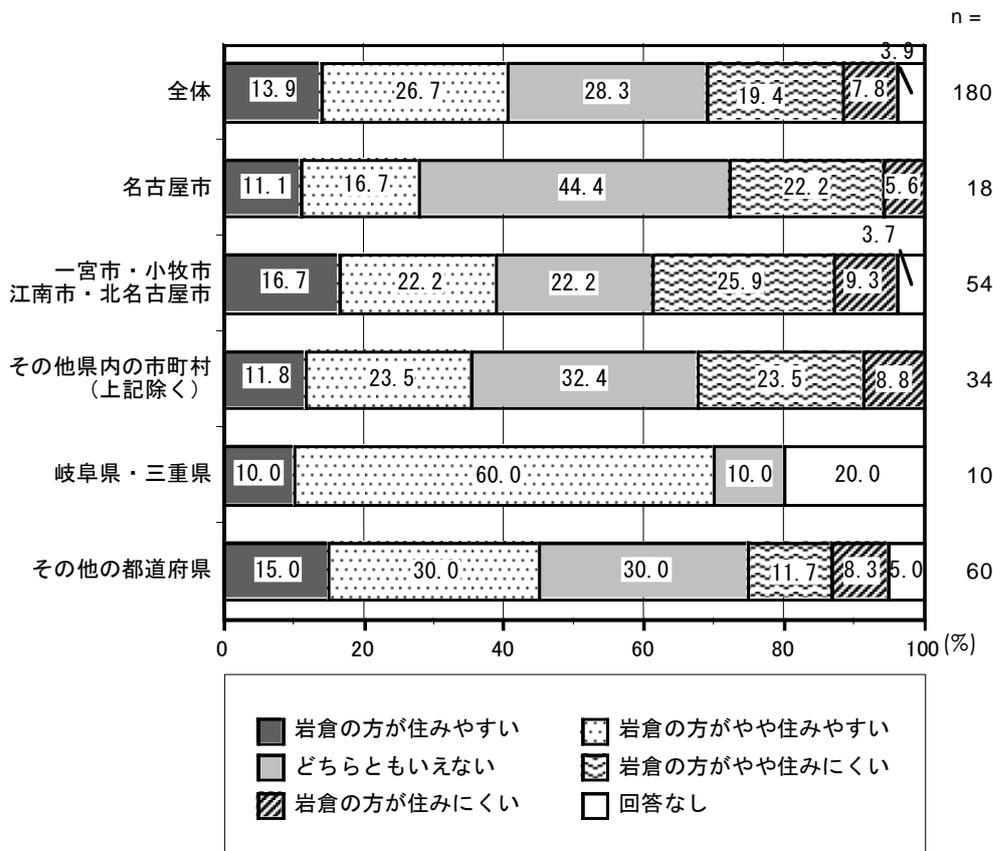


図 2-4-3 転出先別「現住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価」



第3章 岩倉市へ再び戻ってくる予定・意向について

(1) 再転入意向 (問 13)

問 13 あなたは将来、岩倉市に再び戻って暮らしていく予定や意向がありますか。

将来、岩倉市に戻る予定や希望があるのは2割弱であり、約7割は戻る可能性は低い・戻りたいと思わないと回答しています。

図 3-1-1 性別「再転入意向」

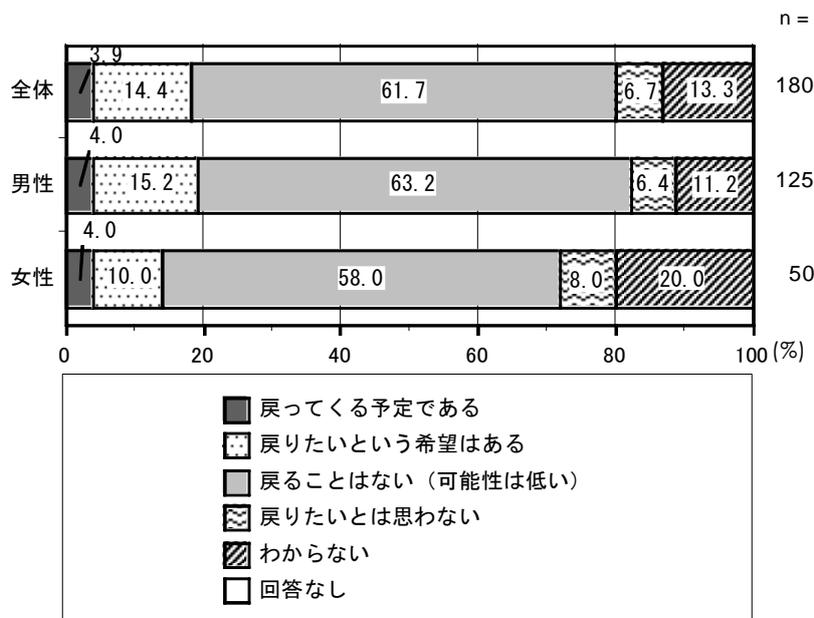


図 3-1-2 年齢別「再転入意向」

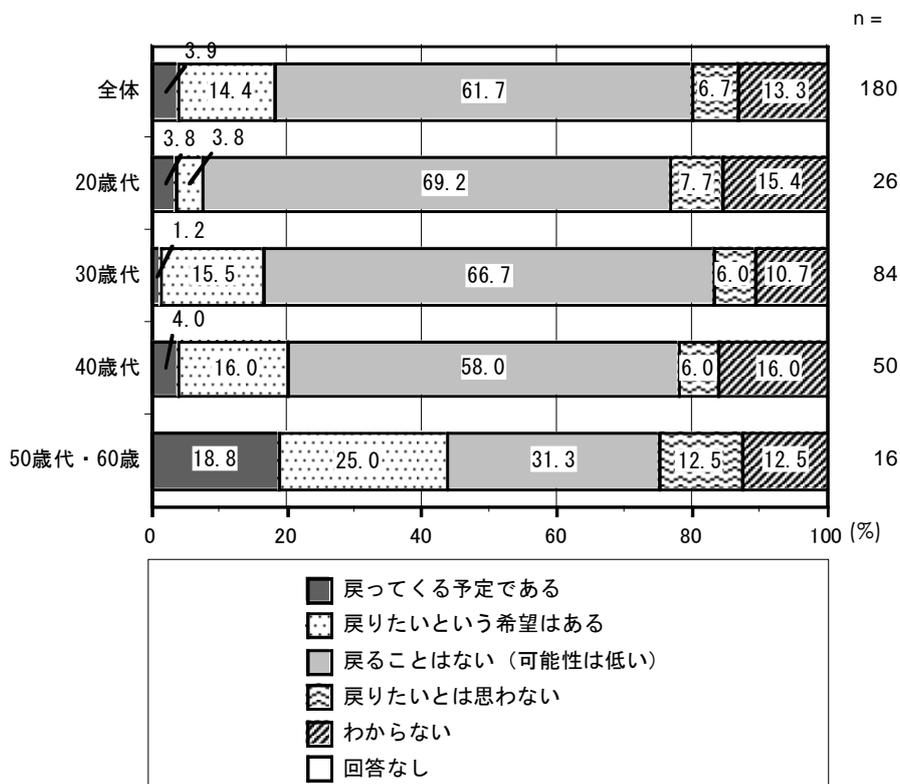
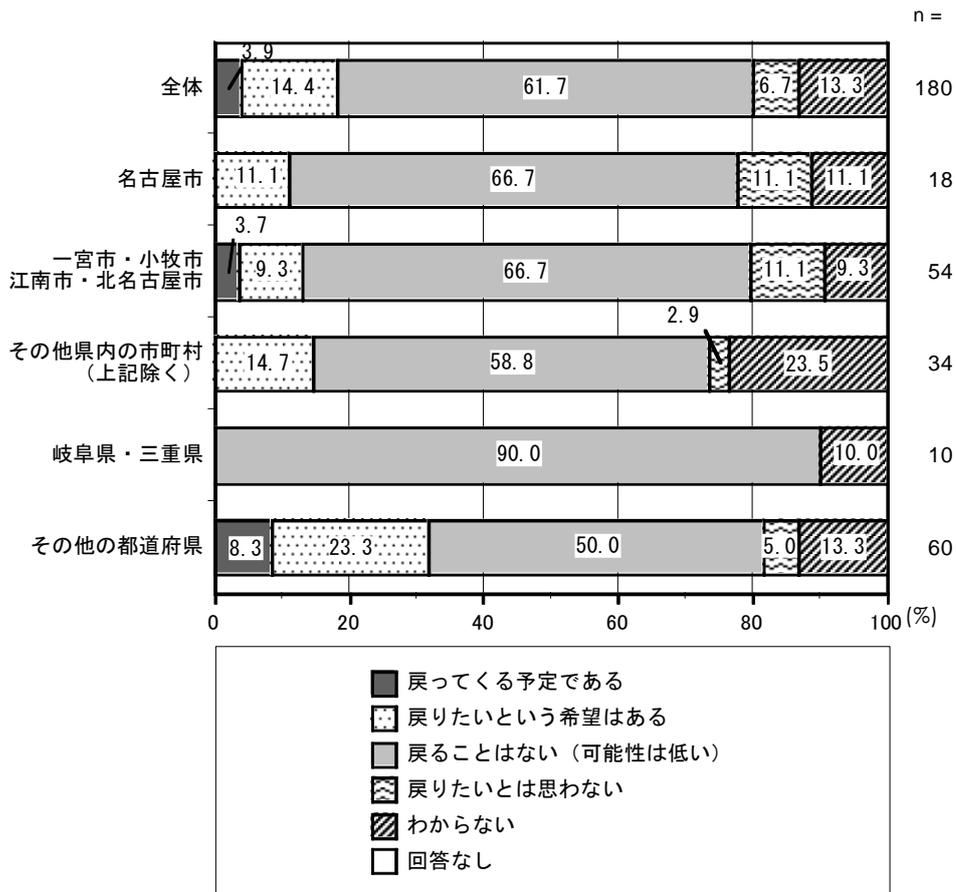


図 3-1-2 転出先別「再転入意向」



(2) 再転入の場合の理由 (問 14)

問 14 岩倉市に再び戻って暮らしていくことがある場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

再転入する理由は、「慣れ親しんだ岩倉市の生活環境の中で生活をしたいため」が33.3%で最も多く、「転勤・転職のため」が30.3%で続いています。

図 3-2 「再転入の場合の理由」

